

記念誌「礎」を発行

洞爺村遺族会

洞爺村遺族会（鈴木孝会長）では、戦後六十年を記念し、記念誌「礎」を発行しました。

記念誌は、戦争体験を風化させず、再び過去の過ちを繰り返さないために、戦争の体験、事実を語り継ぐことが遺族の果たすべき役割との思いから、多くの会員の協力を得て発行されました。

戦中、戦後の会員の思いが綴られているほか戦没者名簿などの資料編を含む三十六ページ程の記念誌となっており、遺族会会員、関係機関に配布されました。



戦中、戦後の体験が綴られた記念誌

なお、現在三十冊ほどの在庫があり、一冊五百円で配布できるといふことですので、戦争体験者や興味のある購入希望の方は洞爺村社会福祉協議会事務局（82・5185）にお申し込みください。

古里の記憶後世に伝える「洞爺村写真集を発刊」

世界的に著名な写真家並河氏に村のイメージアッププロジェクト事業として、平成八年から三年間にわたり洞爺村を撮影していただいた写真集、これまでビエンナーレ事業のポスターなどで活用を図ってきたところですが、来年三月に虻田町との合併を控え、古里洞爺村の記憶を永く後世に伝えようと、並河氏撮影の洞爺村写真集を発刊することとしました。

写真集は全体で百二十ページ程度として、風景はもちろんのこと文化財や歴史的建造物など厳選した作品百十程度を収めることとし、さらに洞爺村資料編として十ページ

程度設け、開拓時代からの現在までの沿革等を掲載する予定です。発刊は今月二十三日から始まるビエンナーレ展覧会に合わせることで現在作業を進めています。発行部数は三千部、一冊二千八百円（税込み）としてビエンナーレ展覧会場受付及び役場（総務課企画係）で販売することとしています。

吹き付けアスベストに関する村内公共施設の確認調査を行いました！

吹き付けアスベスト（石綿）による健康被害が全国で発生し、社会問題となっていることは、村民の皆さんも既にご承知のことと思います。

村におきましては、去る八月の上旬から中旬にかけて吹き付けアスベストの使用の有無に関する村内公共施設の一斉確認調査を行い、次の施設で吹き付けアスベストの使用を確認しました。
なお、これら確認された吹き付けアスベストにつきまし

ては、除去及び封じ込めなど所要の対策を講ずることとしています。

吹き付けアスベストが確認された施設	吹き付けアスベストが施行されている箇所
洞爺小学校校舎	・消音室の壁及び天上
役場重機車庫	・事務所入り口上部H鋼 ・事務所天上裏H鋼
洞爺村総合センター	・地下機械室の天上 ・集合煙突

誕生 おめでとーございます

三浦 夏維くん

父 隆文さん

母 奈緒美さん

7月23日生まれ

4町内

井谷 美紀ちゃん

父 孝一さん

母 紀恵さん

8月1日生まれ

長女 緑沢

「洞爺湖町」の設置が告示

平成十七年三月三十日、洞爺村と虻田町が北海道知事へ合併を申請しておりましたが、八月十九日付け、官報に虻田町との廃置分合の告示がされました。

この告示により、法律に基づく合併手続きは完了し、平成十八年三月二十七日（月）に新町「洞爺湖町」が誕生することになります。

【総務省告示第九五八号】

町村の廃置分合

地方自治法第七條第一項の規定により、虻田郡虻田町及び同郡洞爺村を廃し、その区域をもって同郡洞爺湖町を設置する旨、北海道知事から届出があったので、同条第七項の規定に基づき、告示する。右の処分は、平成十八年三月二十七日からその効力を生ずるものとする。

平成十七年八月十九日

総務大臣 麻生 太郎